

お薬師さま

平成23年10月第2週放送

やくし あみだ さいほうごくらくじょうど どうほうじょうるり
お薬師さまは、阿弥陀さまの西方極楽浄土の反対側にある、東方浄瑠璃世界にい
らっしゃるので、正式には薬師瑠璃光如来といいます。

じょうるり
極楽浄土の反対側にあるからといっても、地獄ではありません。浄瑠璃世界もまた
仏さまの世界なのです。

あすか こくぶんじ
薬師信仰は飛鳥時代に伝来したといわれています。お薬師さまは多くの国分寺でご
本尊とされたことによって民間に広まり、平安時代に最澄・伝教大師が創設した
ひえいざん こんぼんちゅうどう
比叡山・根本中堂のご本尊もお薬師さまであることから、多くの寺院でお薬師さま
がご本尊としてまつられるようになったといわれます。

それらの時代にお寺のご本尊さまとして広まりましたが、どうして、薬師信仰が広
まったのでしょうか。

ぼさつ
お薬師さまが菩薩として修行されていた頃、十二の願いを立てられたそうです。仏
教に生きるお薬師さま自身に向けられたお誓いですが、その中に『病気などの苦しみ
の多い者が、その名前を聞いただけでも病気が治り、苦しみから救われ、身心を安ら
かにする』ですとか、『飢えに苦しむ者に食事を充分に与えて安楽に導く』、『衣服の
無い者に衣服を与える』など、お薬師さまを拝む者にご利益が生まれる願いがあった
のです。

これらの願いを満足させたいと思うのが人間ですので、それによって薬師信仰が広
まったとも言えるのではないのでしょうか。

しかし、お薬師さまに祈ることに限らず、祈りとは、自分に向けられる意識・・・言
い換えると、自分と仏さまとの約束であるべきものなのです。お守りやご祈祷札はそ
の約束を忘れてしまう自分自身を叱咤激励する仏さまの分身がそこにいるという、安
心感を得るものなのです。

昔、交通安全のご祈祷をした帰りに交通事故を起こした人が、ご利益が無かったか
らお金を返せと言ってきたという話を聞きました。ご祈祷の力だけで、そんなご利益

なるものがあるなら、交通事故はいつでもどこでも起きませんし、道路交通法も意味を成さないので、要らなくなります。が、そんな事はありません。

あなたが仏さまとの約束を守って、初めて「ご利益がある」のです。

「ご利益がある」とは、あなたの中にいる仏さまが現れているとも言えるでしょう。